

8-2 非財務サマリー

■CO₂排出量 (Scope1+Scope2)

	2023/ 6月期	2024/ 6月期	2025/ 6月期	目標
Scope1(t-CO ₂)	2,367	2,490	2,520	—
Scope2(t-CO ₂)	46,929	48,009	47,932	—
合計	49,296	50,499	50,452	2030年までに 2022/6月期比 で30%削減*
売上高原単位排出量 (t-CO ₂ /百万円)	0.55	0.47	0.42	—

*SBTiの1.5°C水準に基づく削減目標

■CO₂排出量 (Scope3)

	2023/ 6月期	2024/ 6月期	2025/ 6月期	目標
Scope3(t-CO ₂)*	140,915	172,463	141,302	—
売上高原単位排出量 (t-CO ₂ /百万円)	1.56	1.60	1.18	2023/6月期 の水準を維持

*Scope3のうち一部(カテゴリー3)の過去の集計に誤りがあることが判明したため、この度、過年度の見直しを実施しています。当社は外部専門家の助言に基づいて対応しておりますが、今回改めて集計過程の見直しを行ったところ、カテゴリー3の対象範囲についての認識が異なっていたことが判明したため修正を行っています。

影響度:2022/6月期:+670-CO₂2023/6月期:+6,467t-CO₂ 売上高原単位排出量+0.07

■水使用量

	2023/6月期	2024/6月期	2025/6月期
水使用量(千m ³)	362	364	385

*販売拠点は水使用量が極めて少なく、個別特定できないため、上記集計から除いています。

■CO₂排出量 (Scope3)

	内容	2024/6月期	2025/6月期	算定方法
カテゴリ1	購入した製品・サービス	95,762	92,489	購入した材料・サービス等の金額にそれぞれの排出原単位を乗じて算出
カテゴリ2	資本財	50,119	22,257	購入した資本財の金額に排出原単位を乗じて算出
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	6,516	6,541	購入した燃料およびエネルギーの消費量にそれぞれ排出原単位を乗じて算出
カテゴリ4	輸送・配送(上流)*	2,700	2,902	購入した材料等および自社が費用負担している物流の輸送トンキロに輸送手段別の排出原単位を乗じて算出
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	—	—	廃棄物処理の委託量に廃棄物の種類ごとの排出原単位を乗じて算出
カテゴリ6	出張	233	249	従業員数に排出原単位を乗じて算出
カテゴリ7	雇用者の通勤	4,175	4,205	勤務形態・都市階級別に区分した通勤者数にそれぞれの排出原単位を乗じて算出
カテゴリ8	リース資産(上流)	—	—	該当するリース資産を保有しないため対象外
カテゴリ9	輸送・配送(下流)*	12,642	12,264	販売した製品等(自社で費用負担しない物)の輸送トンキロに輸送手段別の排出原単位を乗じて算出
カテゴリ10	販売した製品の加工	81	130	販売した中間製品重量の種類ごとに排出原単位を乗じて算出
カテゴリ11	販売した製品の使用	—	—	該当する製品はないため対象外
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	235	266	販売した製品における廃棄物処理の委託重量に排出原単位を乗じて算出
カテゴリ13	リース資産(下流)	—	—	該当するリース資産を保有しないため対象外
カテゴリ14	フランチャイズ	—	—	フランチャイズ契約を締結していないため対象外
カテゴリ15	投資	—	—	該当する投資はないため対象外
合計		172,463	141,302	

*今回の算出から生産工場までの配送を上流、生産工場からの製品出荷を下流と定義し、過去分の修正も行っています。

8-2 非財務サマリー

従業員データ

	2023/6月期	2024/6月期	2025/6月期
連結従業員数(グローバル)(人)	10,187	9,371	9,473
うち女性	7,762	7,020	7,084
うち男性	2,425	2,351	2,389
うちメディカル事業	6,188	5,773	5,778
うちデバイス事業	3,425	3,062	3,171
うち全社(共通)	574	536	524
当社従業員(単体)(人)	1,016	1,088	1,196
うち女性	291	329	376
うち男性	725	759	820
うちメディカル事業	607	646	715
うちデバイス事業	293	314	342
うち全社(共通)	116	128	139
勤続年数(単体)(年)*	7.3	7.2	7.2
うち女性	6.0	5.8	5.8
うち男性	7.8	7.9	7.9
平均年齢(単体)(歳)	36.7	36.9	37.1
平均年間給与(単体)(万円)	628	650	695

* 勤続年数が短いことについては、中途採用者が多いことに起因しています。

ワーク・ライフ・バランスに関する指標

	2023/6月期	2024/6月期	2025/6月期
月平均残業時間(単体)(時間)	24.4	23.9	21.8
有給休暇取得率(単体)(%)	74.6	72.1	75.6
正社員の任意離職率(単体)*(%)	6.1	6.5	5.1
フレックスタイム制度導入拠点数(拠点)	6	6	9

*他社平均と比較しても大変低い離職率と認識しています。

技術関連データ

特許/意匠保有件数

	2023/6月期	2024/6月期	2025/6月期
特許/意匠保有件数(グローバル)(件)	806	938	1,014

ダイバーシティ推進に関する指標

	2023/6月期	2024/6月期	2025/6月期	目標
女性従業員比率(グローバル)(%)	76.2	73.7	74.8	—
女性管理職比率(グローバル)*1(%)	36.3	35.8	33.5	30%以上を維持
女性管理職比率(単体)*2(%)	12.0	12.3	14.3	2026年6月期 13%以上
新卒採用女性比率(単体)(%)	26.5	33.3	29.1	25%以上を維持
新卒技術系採用女性比率(単体)(%)	21.9	33.3	20.5	20%以上を維持
男女の賃金差(単体)(%)	61.1	61.2	62.2	—
正規雇用労働者の男女の賃金差*3	82.0	81.7	80.1	—
パート・有期労働者の男女の賃金差*4	24.3	27.3	30.9	—
女性の育児休暇取得率(単体)(%)	100.0	100.0	90.0	—
男性の育児休暇取得率(単体)(%)	54.5	57.7	68.0	50%以上を維持
外国人雇用率(グローバル)(%)	86.2	84.0	82.8	—
外国人管理職比率(グローバル)*1(%)	65.9	60.5	64.9	—
中途採用管理職比率(グローバル)*1(%)	54.7	57.6	60.3	—
障がい者雇用率(国内)(%)	2.57	3.05	2.76	—

*1 当社グループにおける各規定の管理職基準に基づき算定しています。

*2 有価証券報告書の開示基準を適用して算定しています。

*3 賃金制度・賃金体系において、男女の賃金に差異はありませんが、正規雇用労働者において、上位職層に占める女性労働者の割合が少ないこと、平均勤続年数が男性より約2年短いことが差異の要因となっています。

*4 賃金制度・賃金体系において、男女の賃金に差異はありませんが、パート・有期労働者などの男女の賃金の差異は、雇用契約に基づく就業形態の違いに起因しています。定年後再雇用者は、職務内容や定年前の資格等を踏まえて処遇を決定しており、差異が出る要因となっています。

就業形態別・男女の在籍割合(2025年6月期末時点)

	男性	女性	計
就業形態別・男女の在籍割合(単体)(%)	63.5	36.5	100.0
正規雇用労働者	60.5	23.3	83.8
定年後再雇用	2.5	0.4	2.9
有期契約社員	0.2	0.7	0.9
パートタイマー	0.3	12.1	12.4

■人財ビジョンに関する指標

	2023/6月期	2024/6月期	2025/6月期
マイスター取得者数(単体)(人)	5	5	4
現場力向上プロジェクト登録サークル数	155	152	47
語学研修受講者数(単体)(人)	10	8	10
研究開発人員の割合(単体)(%)	43.5	42.6	43.6

研究開発費

	2023/6月期	2024/6月期	2025/6月期
研究開発費(百万円)	9,723	11,662	12,248
研究開発費比率(%)	10.8	10.8	10.2